



夏…トカゲにザリガニ、カブトムシ

いよいよ本格的な夏がやってきました。海に、山に、プールに...と、子供たちは長い夏休みをどう過ごそうかと色々計画を練っているのではないのでしょうか。それとも宿題びっしりでそんな余裕はないのかな。この間、園内を歩いていたら、あるお母さんたちと子供たちが園路の土手になったところで立ち止まりあるものを見ていました。「どうしました？」と声をかけると何か動いてるのがいるとのこと。そちらを見ると動いてるものの正体はカナヘビでした。お母さんたちはカナヘビを見るのは始めてということでした。そこでこの場を借りてカナヘビを撮影し、見たことない人に紹介しようと思います。近づくとすばしこく身を隠すので撮影するのも一苦労ですが、そこで撮ったのが次の画像です。



すばしこい動きのニホントカゲ

しかし、撮ってみてこれはカナヘビではないということに気がつきました。よく混同しますが、カナヘビ(正式にはニホンカナヘビ)は全体に細長く褐色でつやがないのに対し、撮影したのはニホントカゲの成体。こちらはやはり茶褐色ですが全体的に光沢があり横腹に茶色の縞模様があります。幼体は尾がきれいな青色をしています。私たちもカナヘビとかカナチョロ、トカゲなどと区別せず使っています。本当はカナヘビも撮影し比べてみたかったのですがうまく見つけられませんでした。

私が子供の頃、夏休みにはよく虫を捕まえに近所の野原に出かけました。シャワーのように降り注ぐセミたちの合唱とむせ返るような暑さのなか、トンボに蝶にバッタにセミなど、動くものなら何でも捕まえ(といってもそう簡単には捕まらないですね)、夏休みの自由研究とかでそれらを箱に入れ提出したものです。特に虫好き、というわけでもなかったのですが、あの頃はみんなそういうことをやってたような気がします。また、ザリガニ釣りやカエル獲りなんかもやりました。そういうところではよくシマヘビやアオダイショウなんかとも遭遇しました。いまの子供たちにはそうした経験があまりないのでないでしょうか。冒頭のお母さんたちからしてカナヘビやトカゲを見たことがないというのですから。前回、生物多様性という話をしましたが、動物園や博物館などの展示物だけではなく、生物多様性という状況を生身の体で感じるためにも、この夏は、ぜひ自然の状態の生き物たちにも触れてもらいたいと思います。



夏の王者カブトムシ



人気者ノコギリクワガタ

そうはいつてもなかなか体験できない子供たちのために、動物園では平成22年、昆虫の中でも王様クラスの「カブトムシ」を中心に、甲虫類を集めた「カブトムシとその仲間たち展」を夏休み期間に行います。

職員が集めたクワガタやカミキリムシ、そして色鮮やかなタマムシなどが一同に会します。仕事の合間を縫って職員がほとんど手作りでセッティングしました。なかでも、油絵で描いた背景画は要注目。腕に覚えのある職員の渾身の一作です。期間は平成22年7月29日から8月22日までの約1ヶ月間、園内の動物資料館で開催されます。また、このほか恒例のザリガニ釣りも開催されますので、ぜひ生物多様性の夏を平成22年は体感してみてください。



釣ったらもどしてね



渾身の一作

(平成22年7月21日)

2010年7月21日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)